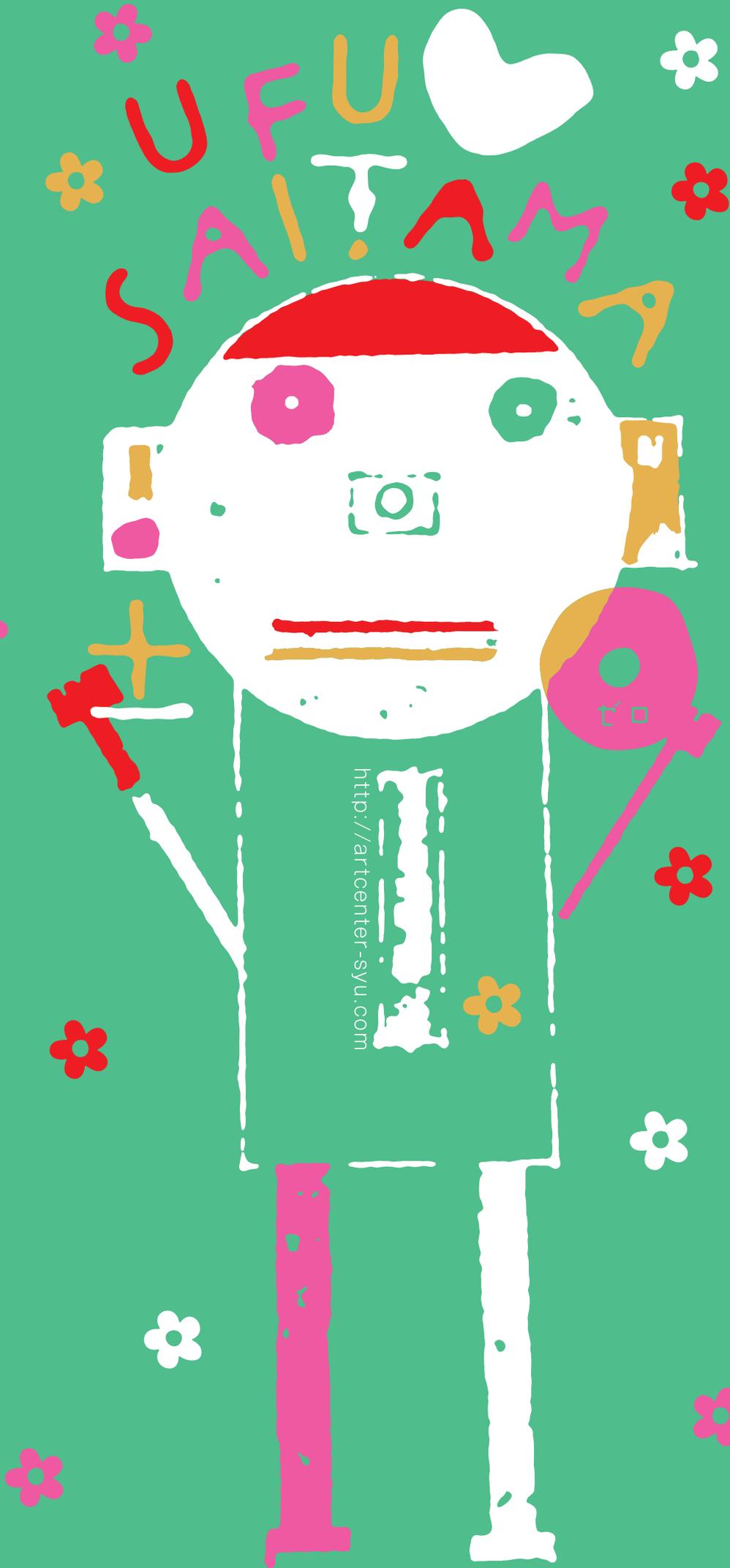


う
ふ
さ
い
た
ま
ま
は
ま
は
展

第七回埼玉県障害者アート企画展



二〇一六年十二月七日(水)……十二月十一日(日) 十時～十七時三〇分 定休日なし

主催：埼玉県障害者アートネットワークTAMAPPiO、社会福祉法人みめま福祉会 共催：埼玉県 後援(予定)：上尾市、春日部市、川口市、川口市教育委員会、川越市、行田市、熊谷市、鴻巣市、さいたま市、さいたま市社会福祉協議会、戸田市、新座市、東松山市、三郷市、吉川市、JR東日本大宮支社 協力：埼玉県立近代美術館、埼玉県障害者アートフェスティバル実行委員会、コンパコ、株式会社 ジェイアイシー 助成：障害者の芸術活動支援モデル事業(厚生労働省補助事業) 平成二十八年度は障害者の芸術活動支援モデル事業として四つの展覧会を企画しています。その第三弾です。キュレーション：中津川 浩章





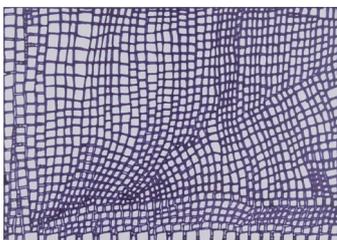
栗原 和秀



八島 遼



永井 健雄



森川里緒奈



斎藤 勇真



阿部 香織

障害のある人にとってアートとは?表現とは?福祉とは?そんな問いを包括する展覧会「UFU♥SAITAMA±0」展。埼玉県全域からセレクトされた80人以上のアーティストによる、200点以上の衝撃的な作品が、埼玉県立近代美術館に展示されます。

埼玉県独自の取り組みから生まれた作品と作家たち。アートと福祉、それぞれからの目線が交錯し、越境していきながら浮かび上がってくる新しい視野。その表現の広がり、深さ、そして切実さは人の心を動かし、今を生きる人に元気と笑いを、そして生きる力をもたらししてくれます。

関連企画

障害者アートマネジメントセミナー「障害者アートの可能性について」

障害のある人のアート活動に関心を持つ人が増えています。障害のある人のアートの取り組みが、本人の生活の質の向上、地域とのつながり、作品の商品化、福祉施設職員や美術関係者の意識への影響など、様々な変化をもたらしています。障害者アートの可能性やマネジメントに必要な視点を学び合い、共有する場をつくります。みなさまのご参加をお待ちしております。

12月10日[土] 10:00~17:00

会場:埼玉県立近代美術館講堂

参加費:無料

定員:100名(事前申込/アートセンター集までお問い合わせください)

- 基調講演「豊かに生きる・幸せに生きるを考える」
松本 哲(社会福祉法人みぬま福祉会川口太陽の家施設長)
- 各論①「福祉施設がつくる商品とは」
杉 千種・山口里佳(con*tio)
- 各論②「著作権はコワくない!」
岩本憲武(弁護士/モッキンバード法律事務所)
- 活動紹介「埼玉県内の施設間のつながり、広がり、深まり」
石平裕一(NPO法人カウント5代表)、野本翔平(NPO法人CILひこうせんスタッフ) 豊田亜紀(多機能型事業所わっくすスタッフ)、宮本恵美(工房集管理者)
- ディスカッション「アートの本質とは?」
前山裕司(埼玉県立近代美術館学芸員)、中津川浩章(美術家、アートディレクター)、小澤基弘(画家、埼玉大学教育学部教授)、酒井道久(彫刻家、元埼玉県立大学教授)

会場

埼玉県立近代美術館一般展示室1(地下1階)

埼玉県さいたま市浦和区常磐9-30-1

Tel:048-824-0111

※JR京浜東北線北浦和駅西口より徒歩3分(北浦和公園内)

※駐車スペースがないので、お車でお越しになる場合は
予め周辺駐車場をご確認ください。

お問い合わせ

アートセンター集(社会福祉法人みぬま福祉会 工房集内)

Tel:048-290-7355 Fax:048-290-7356

E-mail:kobo-syu@marble.ocn.ne.jp

URL:http://artcenter-syu.com



川田 修



EMI

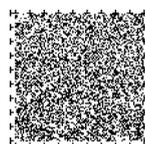


齋藤 進

前田 聡男



専用の読み上げ装置で情報を音声で聞くことができます▶



彩の国 埼玉県



埼玉県のマスコット コバトン